

令和8年1月8日(木)  
海田町自治会連合会  
自治会長研修

テーマ: 自主防災組織の取組について

目 的: 優良自主防災組織の活動状況を聴講し、  
自治会(自主防災組織)における防災の  
取組をより充実させる。

大竹市  
危機管理課



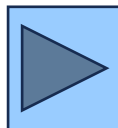
公開先  
大竹市HP  
防災研修資料

## 次 第

- 1 あいさつ
- 2 研修説明（大竹市危機管理課）
  - （１）県知事表彰
  - （２）大竹市の取組方針
  - （３）避難の呼びかけ体制
- 3 意見交換・質疑応答

# 県知事表彰

# 広島県HP



22:02
4G 65%

X
pref.hiroshima.lg.jp

防災

重要

検索

メニュー

[トップページ](#) > [組織でさがす](#) > [危機管理監](#) > [消防保安課](#) > 自主防災組織の県知事表彰について

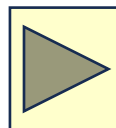
## 自主防災組織の県知事表彰について

掲載日：2025年11月7日

広島県では、自主防災組織の活動を促進するため、他の模範となる優良な自主防災組織を表彰しています。平成20年度から現在まで、次に紹介する自主防災組織が受賞しています。

令和7年度広島県消防関係者表彰式一同

# 大竹市HP



22:02
4G 65%

X
city.otake.hiroshima.jp

検索

メニュー

## 県知事表彰

この表彰は、防災訓練や避難訓練等、地域における防災活動の取組が顕著で他の模範となった自主防災組織並びに指導者に送られるものです。

◦ [（広島県リンク）県知事表彰](#)

### ■玖波1丁目自主防災会（優良自主防災組織）令和7年度受賞

令和7年10月21日に広島県庁で開催された令和7年度優良消防職員・優良消防団員等知事表彰式において、優良自主防災組織として、玖波1丁目自主防災会が表彰されました。

副知事から表彰状を授与される玖波1丁目自主防災会会長

集合写真（2列目左1番目）

# 県知事表彰とは

## 広島県 優良消防職員・消防団員等知事表彰

- (1) 優良消防職員
- (2) 優良消防団員
- (3) 優良消防団
- (4) 消防関係功労者

### 優良 自主防災組織

ア 婦人防火クラブ、少年消防クラブ、幼年消防クラブ、消防後援会、防火協会等の消防関係団体

イ 消防職団員の教育指導若しくは防火思想の啓蒙に努力し、その功績が特に他の模範となった団体並びに指導者

ウ 消防団員である勤務者を雇用し、その活動を支援し、功績が特に他の模範となった事業所。(消防団協力事業所の認定を受けた事業所を優先する。)

エ 防災訓練や避難訓練等、地域における防災活動の取り組みが顕著で他の模範となった自主防災組織並びに指導者

オ その他、人命救助など特に顕著な功労があり、賞すべき個人・団体

### 【実務担当】

消防団・団員	県	消防保安課（消防救急グループ）
自主防災組織	県	消防保安課（地域防災グループ）
	市町	防災担当（大竹市：危機管理課）

## 県知事表彰

## 年間日程等

(照会) 県→市町 4月～ 6月

(申請) 市町→県 5月～ 7月

(審査) 県 6月～10月

(表彰) 県 10月～11月(消防の日)

## 県知事表彰

## 【自主防災組織】審査基準等

### 広島県 審査基準

- 1 避難の呼びかけ体制を構築していること。(R2追加)
- 2 住民避難訓練等、避難の呼びかけ体制の実践の取組を実施していること。(R6追加)
- 3 地域住民に対し、マイ・タイムライン等の普及啓発を実施していること。(R6追加)
- 4 前号のほか、功績が顕著で、知事が特に表彰の必要があると認めるもの。(R4追加)

### 大竹市が特に重視している事項

- 1 県の基準をすべて満たすこと(特に4:顕著な功績)
- 2 自主性が高く、今後も活動の発展が見込めること

# 県知事表彰

## 大竹市(実績)

年度	受織	特性	実施	顕著な功績(呼びかけ体制への取り組み)
平成24	小島 連合	洪 震・津		
令和4	新町 1丁目	洪 震・津	洪水	<p>令和3年度訓練成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼びかけ体制の全工程を完了【市内初】</li> <li>・要配慮者を組み込んだ避難訓練【市内初】</li> <li>・ブラインド型の避難訓練を実施、困難な条件で検証のための訓練を行い、弱点の洗い出しに成功【市内初】</li> <li>・防災セミナーで活動を発表、他組織へ模範提示</li> </ul>
令和5	元町 1丁目	土・洪 震・津	土砂	<p>令和4年度・5年度訓練成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害別の避難計画(連絡網)を作成、迅速で合理的な情報伝達訓練を実施【市内初】</li> <li>・SNSツールを応用し、独自の安否確認システム(無料)を開発、訓練で検証・戦力化【市内初】</li> <li>・裏山の参道を整備、津波避難ルートを確保【市内初】</li> <li>・防災セミナーで活動を発表、他組織へ模範提示</li> </ul>



# 県知事表彰

# 大竹市(実績)

年度	受織	特性	実施	顕著な功績(呼びかけ体制への取り組み)
令和7	玖波 1丁目	震・津	地震	<p>令和6年度訓練成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無事ですタオルを使用した安否確認を実施【市内初】</li> <li>・交流のなかった集合住宅(県営・市営)の住民の取り込みに成功【市内初】</li> <li>・旧耐震基準の住宅を選別、地震対応マップを作成【市内初】</li> <li>・防災セミナーで活動を発表、他組織へ模範提示</li> </ul>

自主防災組織育成

# 大竹市の取組方針

広島県  
土砂・洪水  
頻繁に発生

年月	要因	災害種別			主な被災地	被害の概要
		土砂	洪水	高潮		
S20. 9	枕崎台風	●	●		呉市 旧大野町 他	死者・行方不明者2,012名、 家屋全壊2,127戸、半壊3,375戸 他
S26.10	ルース台風	●	●	●	大竹市 旧佐伯郡 他	死者・行方不明者166名、 家屋全壊716戸、半壊1,267戸 他
S42. 7	豪雨	●	●		呉市 他	死者・行方不明者159名、 家屋全壊514戸、半壊605戸 他
S47. 7	豪雨	●	●		三次市 庄原市 他	死者・行方不明者39名、 家屋全壊349戸、半壊2,171戸 他
S63. 7	豪雨	●	●		旧加計町 他	死者・行方不明者15名、 家屋全壊38戸、半壊20戸 他
H 3. 9	台風19号	●	●	●	呉市 旧宮島町 他	死者6名、 家屋全壊50戸、半壊442戸 他
H11. 6	豪雨	●	●		広島市 呉市 他	死者32名、 家屋全壊154戸、半壊101戸 他
H11. 9	台風18号	●		●	広島市 呉市 他	死者5名、 家屋全壊2戸、半壊7戸 他
H16. 9	台風18号	●	●	●	広島市 廿日市市 他	死者5名、 家屋全壊27戸、半壊204戸 他
H18. 9	台風13号	●	●		安芸高田市 北広島町 他	死者・行方不明者2名、 家屋全壊4戸、半壊6戸 他
H22. 7	豪雨	●	●		庄原市 世羅町 他	死者5名、 家屋全壊19戸、半壊35戸 他
H26. 8	豪雨	●	●		広島市	死者77名、 家屋全壊179戸、半壊217戸 他
H30. 7	豪雨	●	●		県内全域	死者149名・行方不明者5名 (R2.2.10時点) 家屋全壊1,162戸、半壊3,628戸 他

大竹市被害

大竹市  
70年以上  
大規模災害  
の経験なし



正常性バイアス

思い込み  
「今回も大丈夫だ」



防災上の弱点

# 大竹市民が陥りやすい2つの傾向

楽天的

悲観的

正常性バイアス

悲観バイアス

危険な状況でも「自分は大丈夫」  
「今まで何ともなかった」



⇒「今度も大丈夫だろう」  
と思い込む

風水害(洪水・土砂災害)

× 結局、何もしていない

ニュースで悪い出来事ばかり報道  
されると過度に不安を感じてしまう。

⇒「ただ怖い」

パニックになる



地震・津波(南海トラフ)

× 結局、何もしていない



正しい知識を得て

○ 正しく恐れ

○ 正しく備えましょう

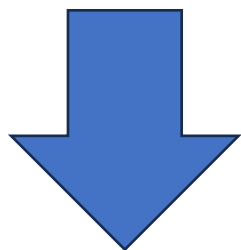
# 大竹市の実状に即した指導上の工夫

市民の意識(現状)

風水害<地震・津波

特に平野部で顕著

広島県は全国で最も土砂災害の多い県だが



(大竹で)風水害重視では  
市民の意識が失速しかねない

取り組み上の工夫

風水害＝地震・津波

自主性を重視

⇒活動の持続化

両者を対等化  
包括的に実施

# 時代の変化

むかし  
**昔**

ひと いのち  
**人の命は**  
ぎょうせい  
**行政が**  
まも  
**守る**

2011年

ひがしにほんだいしんさい

**東日本大震災**

2016年

くもと じしん

**熊本地震**

2018年

にしひほん ごう

**西日本豪雨**

もはや

かた

このやり方では  
ひと まも  
人を守れない

・自主防  
・防災リーダー  
の強化

いま  
**今**

じぶん いのち

**自分の命は**

じぶん まも

**自分で守る**

じぶん  
**自分で**  
じょうほう あつ  
**情報を集め**  
かんが  
**考え**  
こうどう  
**行動する**

じ じょ  
**自助**



きょう じょ  
**共助**



こう じょ  
**公助**



ちい せ  
地域の防災力強化

じゅうみん たす あ  
**住民の助け合い**

ぎょうせい く に けん しちょう  
**行政 = 国・県・市町**

せいふはつぴょう こくみん ことば  
**2018年12月 政府発表 <国民へむけた言葉>**

中央防災会議(30年7月豪雨災害・避難に関するワーキンググループ)報告書より

ぎょうせい ひとり じょうきょう おう ひなんじょうほう だ ふかのう しぜん  
**「行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然**  
きょうい まじか せ ぎょうせい ひとり たす い  
**の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできま**  
ぎょうせい ばんのう みな いのち ぎょうせい ゆだ  
**せん。行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。」**

# 防災のあり方

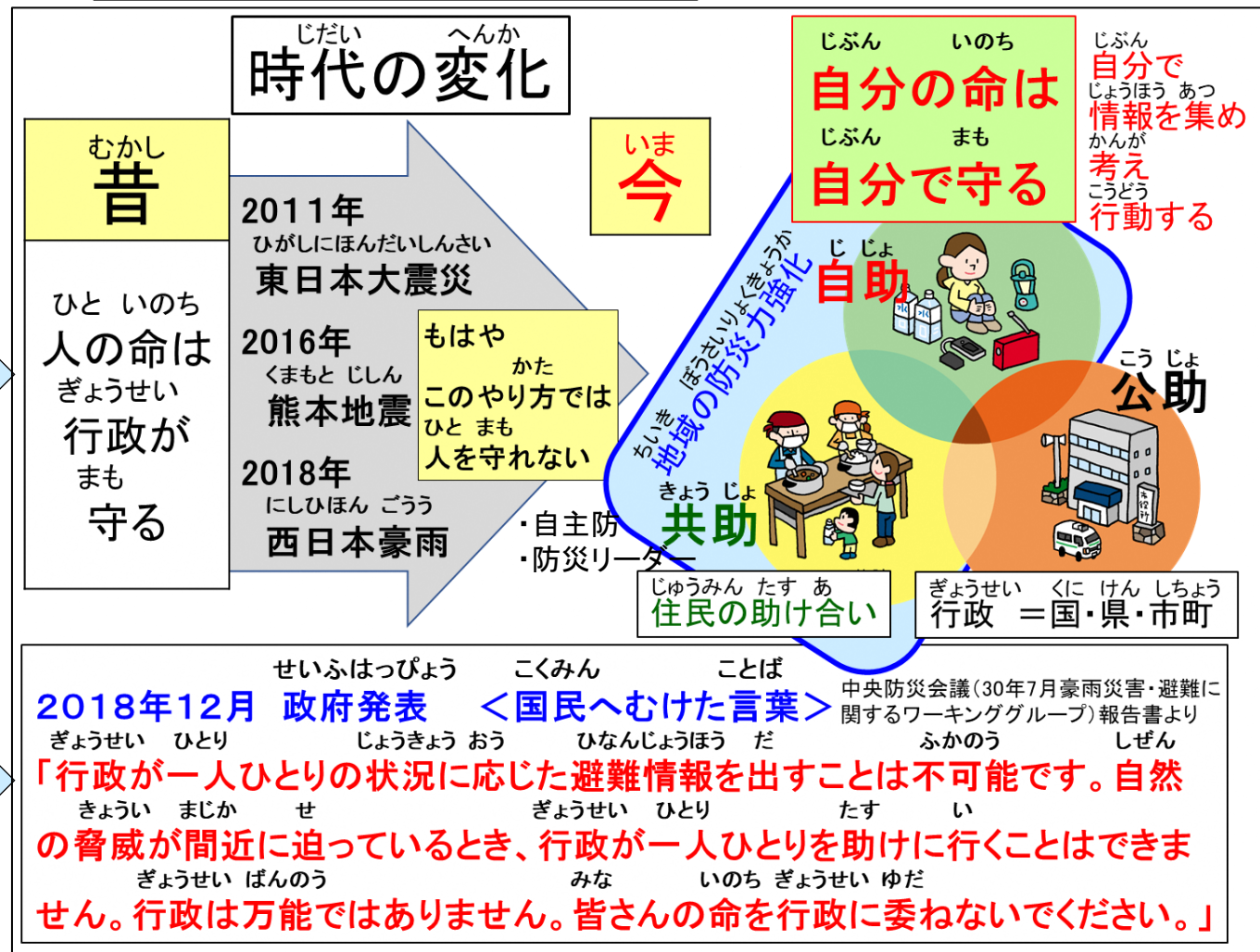
- ① 昔の感覚  
今でも根強い  
特に高齢者



- ② 基礎研修で  
必ず  
読み聞かせる



- ③ 「自分の命は自分で守る」  
の理解に重点





# 防災教育

自分の命は  
自分で守る

自分で  
情報を集め  
考え  
行動する



大竹市の  
防災教育は  
この方法を  
具体的に解説



災害の  
自分事化

とにかく自分で考えさせる!!



# 大竹市の取り組み方針

## 自主防災組織の強化

呼びかけ体制

・・・広島県全市町が参加中



ステップアップ訓練

・・・大竹市独自の実施方法

- 参加は希望のみ
- 3段階を準備  
相談→研修→訓練
- 参加組織の実情に応じ  
個別に内容を調整
- 広島県：土砂・洪水のみ  
大竹市：＋地震・津波を追加

# 避難の呼びかけ体制

# 呼びかけ体制



令和2年度～ **広島県**が**各市町と共同**で推進中の事業  
**平成30年7月豪雨の教訓**に基づき、住民に**早めの避難を促す**ため、呼びかけを開始するタイミングや、呼びかけ方法などのルールを決めて、**自主防災組織**が大雨災害に対して、**効率的で効果的な**呼びかけを行う**仕組み**

呼びかけ体制づくりは、次に示す5つのステップを基本として進めていきます。



**ステップアップ訓練**  
**大竹独自の訓練方法**

大竹市  
独自

防災基礎  
講習

地域防災タイムライン  
組織作り指導

情報伝達  
(避難)訓練

振返り

①個別  
相談指導

②個別研修

③呼びかけ訓練

呼びかけ体制

## ステップアップ訓練

令和7年度  
要領変更

6月：希望調査（各自主防災組織会長宛に送付）

7月：希望回答（自主防災組織毎に回答）

2巡目～  
繰り返し  
希望選択

- ④ 補助金（最大2.5万円）
- ③ 呼びかけ訓練

② 個別研修

原則  
ステップの省略  
はできません。1巡目  
希望選択

- ④ 補助金（最大10万円）
- ③ 呼びかけ訓練
  - ・実践
  - ・検証

② 個別研修
 

- ・基礎知識の習得
- ・訓練方法の検討

① 個別相談指導
 

- ・疑問解消
- ・方針の決定

一旦終了  
次年度再検討一旦終了  
次年度再検討

## 個別相談指導

講師：広島県自主防災アドバイザー

対象：自主防災組織

内容：呼びかけ体制の取組に関する相談指導  
(例) 組織強化・活動活性化・訓練内容

## 実績(内容)

令和5年	2月	玖波5丁目(活動活性化の指導)
令和5年	3月	元町1丁目(訓練内容の指導「地震津波訓練」)
令和5年	12月	玖波1丁目(活動活性化の指導)
令和6年	12月	小方1・2丁目北(活動活性化の指導)
令和7年	1月	黒川連合 (活動活性化の指導)
令和7年	2月	油見連合 (組織強化の指導)
令和7年	8月	御園台 (活動活性化・避難訓練の指導)
令和7年	9月	防鹿 (避難行動・防災活動の指導)
令和7年	9月	玖波7丁目(組織強化の指導)
令和7年	11月	元町4丁目(組織強化の指導)



ステップアップ訓練

## 個別研修

令和7年度  
要領変更

## 1巡目

時間	実施項目	講 師
90分	防災基礎講習	大竹市職員
30分	地域防災タイムライン説明	広島県 自主防災アドバイザー
60分	まちづくり・組織づくり指導 ※	
30分	呼びかけ訓練実施調整（訓練をする場合のみ）	

※ DIG/WS集合訓練未実施の4組織（小方2、大人原大迫、広原、谷尻）  
が参加する場合は、DIG/WSを含めた内容で実施

## 2巡目～

時間	実施項目	講師
30分 ～90分	防災基礎講習 (地域防災タイムライン)	大竹市職員

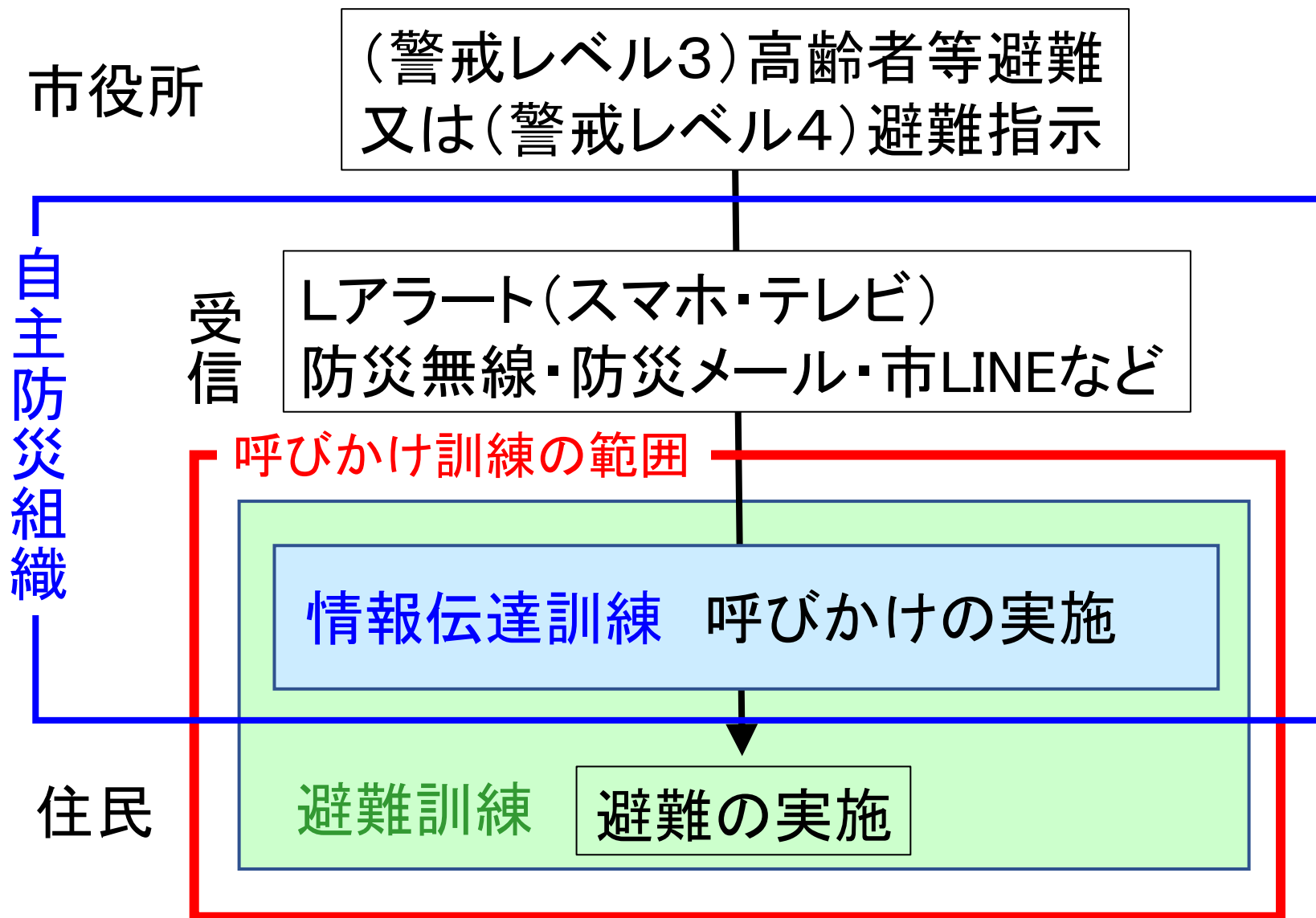
ステップアップ訓練

呼びかけ訓練

令和7年度  
要領変更

区分		1巡目	2巡目～
情報伝達訓練 又は 避難訓練 (30分～1時間 程度)	一般的 な地区	土砂・洪水想定	土砂・洪水想定 又は 地震・津波想定
	土砂・洪水 のない地区	地震・津波想定	
振返り(30分程度)		要実施	要実施
講 師		自主防災 アドバイザー	市職員

# (土砂・洪水)呼びかけ訓練の基本的な流れ





# (地震・津波ケース1)呼びかけ訓練の基本的な流れ

政府  
気象庁

南海トラフ地震臨時情報  
(巨大地震警戒(又は注意))発表

受信

スマートホン(政府発信)  
市防災メール・市LINE(市役所発信)  
テレビ(政府発信)

呼びかけ訓練の範囲

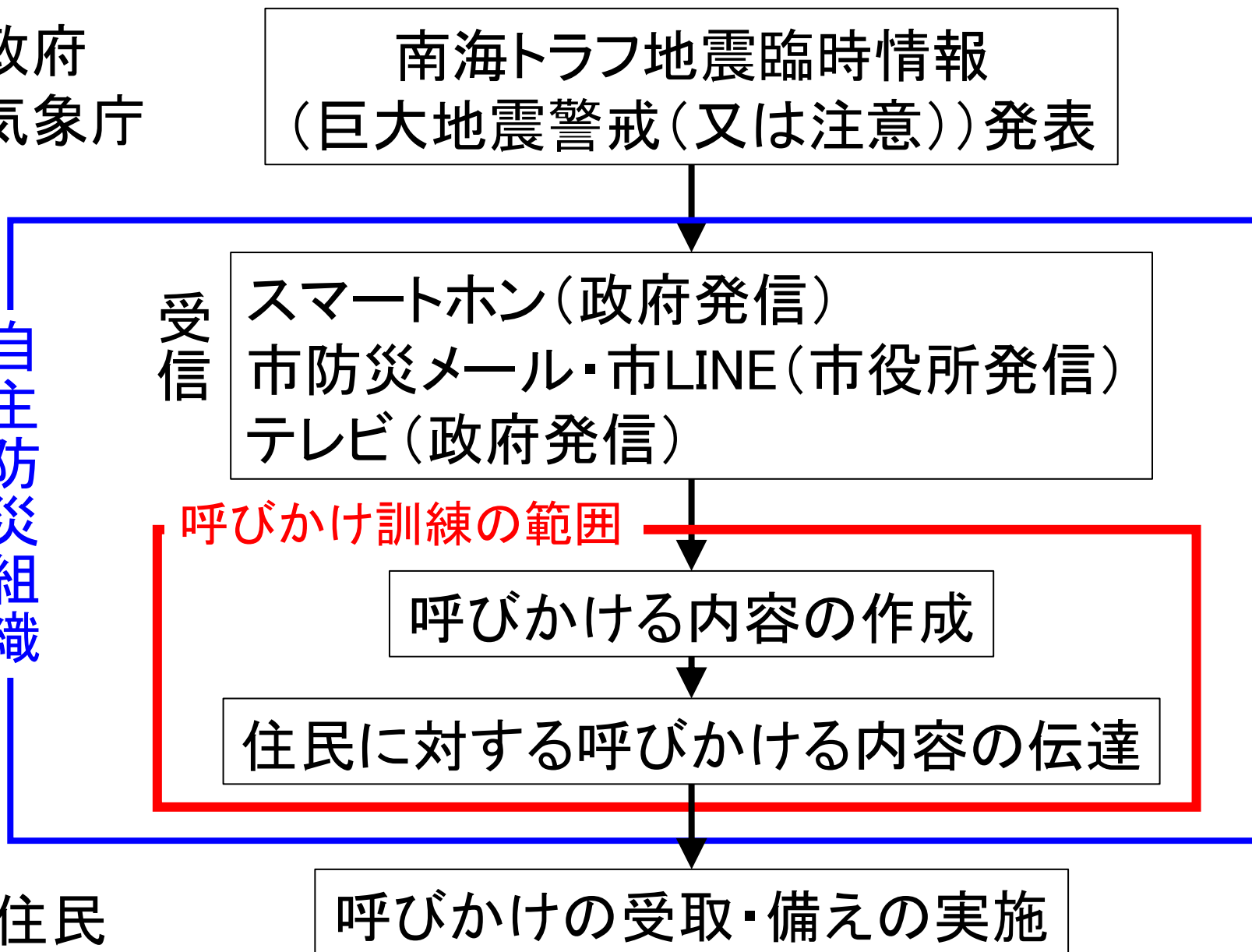
呼びかける内容の作成

住民に対する呼びかける内容の伝達

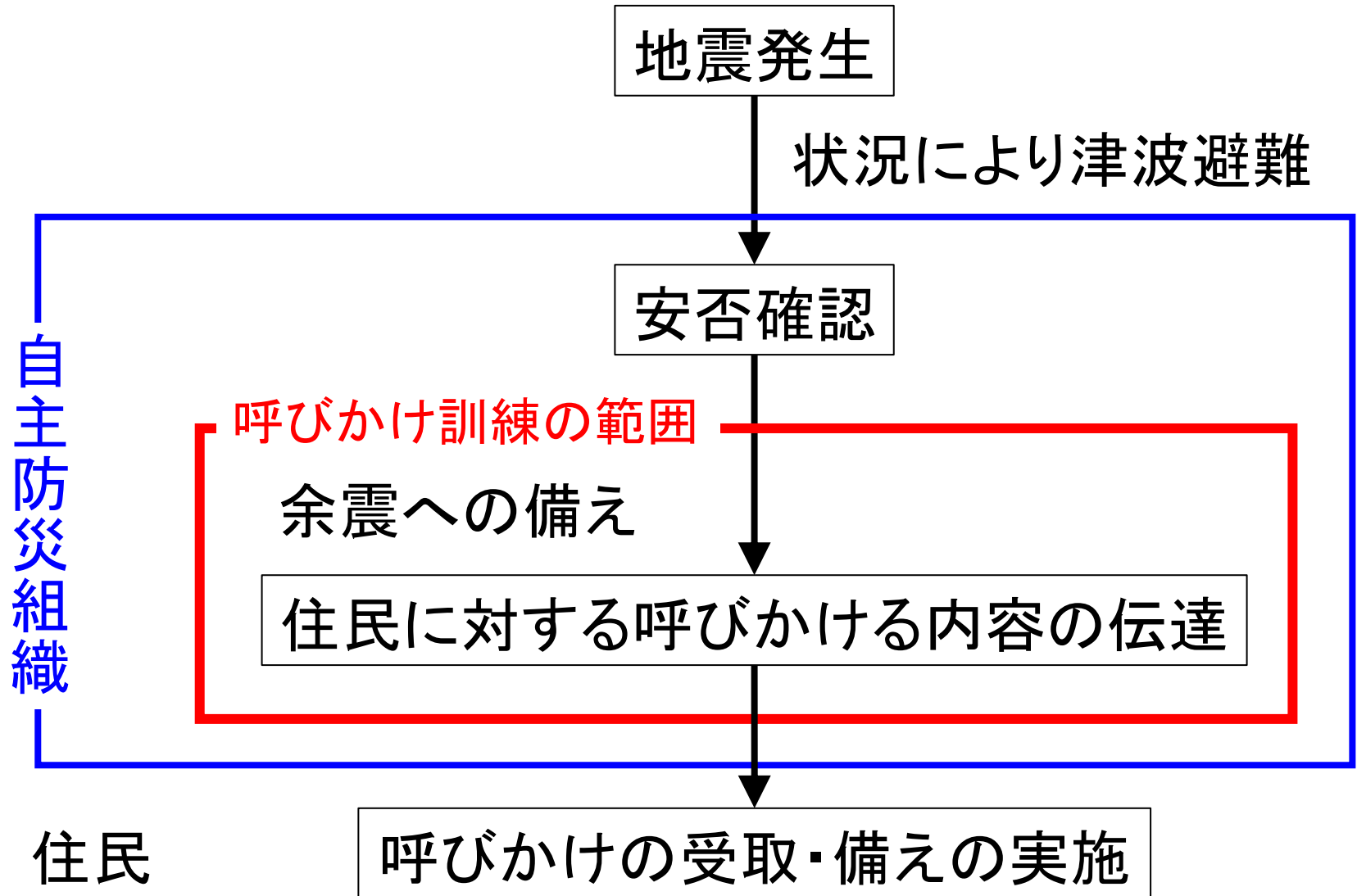
自主防災組織

住民

呼びかけの受取・備えの実施



# (地震・津波ケース2)呼びかけ訓練の基本的な流れ



# 大竹市 呼びかけ体制訓練 実績

対 象	R2	R3	R4	R5	R6	R7
集合型 訓練	18組織	10組織	6組織			
ステップ アップ 訓練		2組織 4回	2組織 4回	3組織 4回	6組織 8回	12組織 16回

組織名	総括	R2-4		R3		R4		R5		R6		R7	
		集合型 DIG/WS	個別 DIG WS	訓練	個別 DIG WS	訓練	相談	個別 DIG WS	訓練	相談	研修	相談	研修
3 元町1丁目	済	●	○		○	◎	○		●	○	●	○	●
4 元町2丁目	未		○										
6 元町4丁目	途中	○	○									○	
8 本町2丁目	済	◎	○	○	◎								
9 白石1丁目	済	◎	○		○	◎							
10 白石2丁目	未		○										
11 新町1丁目	済	●	○	○	◎							○	●
12 新町2丁目	未		○										
13 新町3丁目	未		○										
14 油見連合	途中	○	○						○				
17 南栄1丁目	未		○										
19 西栄1丁目	未		○										
20 小島連合	途中	○	○						○			○	
25 東栄県営	未		○										
26 北栄県営	未		○										
27 立戸連合	未		○										
33 小方1・2丁目北	済	◎	○						○			○	◎
34 小方2丁目	未												
41 御園台	済	◎	○								○	○	◎
43 黒川連合	済	◎	○						○			○	◎
47 港町1丁目	未		○										
49 防鹿	途中	○	○								○		
50 穂仁原	未		○										

組織名	総括	R2-4		R3		R4		R5		R6		R7	
		集合型 DIG/WS	個別 DIG WS	訓練	個別 DIG WS	訓練	相談	個別 DIG WS	訓練	相談	研修	相談	研修
51 比作	未	○											
52 安条	未	○											
53 前飯谷	未	○											
54 後飯谷	未	○											
56 玖波1丁目	済	●	○				○			○	◎	○	●
59 玖波4丁目	未	○											
60 玖波5丁目	未	○											
61 玖波6丁目	未												
62 玖波7丁目	途中	○	○									○	◎
63 玖波8丁目	済	◎	○									○	◎
64 大人原大迫	未												
66 松ヶ原町	済	◎	○						◎				
67 広原	未												
68 谷尻	済	◎										○	◎
69 後原	未	○											
70 小栗林	未	○											
71 大栗林	未	○											
72 谷和	未	○											
実績まとめ	済	●	3										
	済	◎	8										
	途中	○	5										
	未		25										
計			41										

凡例○途中 ◎済(初回) ●済(複数回)  
 助成金交付 10万円 2.5万円  
 青文字: R7予定 赤文字: R7終了済

# 説明を終わります



# 予備資料

# 大竹市 自主防災組織設立状況

自治会		自主防災組織		自治会		自主防災組織		自治会		自主防災組織		自治会		自主防災組織	
番号	組織名	番号	○あり × 未	番号	組織名	番号	○あり × 未	番号	組織名	番号	○あり × 未	番号	組織名	番号	○あり × 未
◎ 木野連合会				◎ 小島地区連合				◎ 新陽台(なし)				◎ 玖波連合会			
1	木野1丁目		×	20	南栄3丁目	13	○	39	御園台	19	○	53	玖波1丁目	28	○
2	木野2丁目		×	21	西栄2丁目			40	小方ヶ丘		×	54	玖波2丁目		×
◎ 元町連合会				22	西栄3丁目			◎ 黒川連合会		20	○	55	玖波3丁目		×
3	元町1丁目	1	○	23	東栄1丁目			41	黒川1丁目			56	玖波4丁目	29	○
4	元町2丁目	2	○	24	北栄			42	黒川2丁目			57	玖波5丁目	30	○
5	元町3丁目		×	25	東栄県営	14	○	43	黒川3丁目			58	玖波6丁目	31	○
6	元町4丁目	3	○	26	北栄県営	15	○	44	港町1丁目	21	○	59	玖波7丁目	32	○
7	本町1丁目		×	◎ 立戸連合会				45	港町2丁目		×	60	玖波8丁目	33	○
8	本町2丁目	4	○	27	立戸1丁目	16	○	◎ 川手連合会				61	大人原.大迫	34	○
9	白石1丁目	5	○	28	立戸2丁目			46	防鹿	22	○	62	湯舟町		×
10	白石2丁目	6	○	29	立戸3丁目南			47	穂仁原	23	○	63	松ヶ原町	35	○
11	新町1丁目	7	○	30	立戸3丁目北			48	比作	24	○	◎ 栗谷連合会			
12	新町2丁目	8	○	31	立戸4丁目			49	安条	25	○	64	広原	36	○
13	新町3丁目	9	○	32	小方1丁目南		×	50	前飯谷	26	○	65	谷尻	37	○
◎ 油見連合会		10	○	33	小方1.2丁目北	17	○	51	後飯谷	27	○	66	後原	38	○
14	油見1丁目			34	小方2丁目	18	○	52	阿多田区		×	67	小栗林	39	○
15	油見2丁目			35	晴海		×					68	大栗林	40	○
16	油見3丁目			◎ 御園連合会								69	谷和	41	○
17	南栄1丁目	11	○	36	御園1丁目		×	自主防(自治会関連)		41	○	その他の組織			
18	南栄2丁目		×	37	御園2丁目		×	自主防(自治会無関係)		1	○	聴覚障害者防災連絡協議会		42	○
19	西栄1丁目	12	○	38	三ツ石		×	自主防のない自治会		16	×				

# 大竹市 自主防災組織・助成金(最大2万円)実績

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
3 元町1丁目	●		○	●	●	●
4 元町2丁目						
6 元町4丁目	●			○	○	●
8 本町2丁目			○	○	○	●
9 白石1丁目				●		
10 白石2丁目						
11 新町1丁目	●		●	●	●	●
12 新町2丁目	●	●	●	●	●	●
13 新町3丁目	●		○	○	○	○
14 油見連合						
17 南栄1丁目	●			○	●	
19 西栄1丁目	●		●	●	●	●
20 小島連合						
25 東栄県営						
26 北栄県営					○	
27 立戸連合	○					
33 小方1.2丁目北				●	●	●
34 小方2丁目						
41 御園台						●
43 黒川連合			○			●

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
47 港町1丁目	●		○		○	●
49 防鹿	○		○		○	●
50 穂仁原						
51 比作						
52 安条						○
53 前飯谷						●
54 後飯谷						
56 玖波1丁目					○	○
59 玖波4丁目			○		●	●
60 玖波5丁目						
62 玖波7丁目					○	
63 玖波8丁目	●			○	●	●
64 大人原・大迫						
66 松ヶ原町			○	●	●	○
67 広原						
68 谷尻						
69 後原	●		○			
70 小栗林	●	●	●	●	●	●
71 大栗林				●	●	●
72 谷和			○		○	
73 防災連(聴覚障害)	○			○		

●	11	2	4	9	11	16
○	3	0	10	6	9	4

凡例: ●実施済(交付済)、○エントリーのみ

# 大竹市 防災リーダー育成状況

期別	年度	認定数	在籍数	
1	H30	25	19	
2	R1	19	17	
3	R3	2	2	
4	R4	6	6	
5	R5	2	2	
6	R6	5	5	内 女性1名
7	R7	10	10	内 女性4名
計		69	61	



# 自主防・設立状況(広島県)

大竹市  
R4. 4. 1現在  
74. 2%  
=町平均レベル

## 組織率

